宇陀則彦 Norihiko UDA
教授 Professor
博士 (工学) Ph.D.
Keywords: 人とドキュメントの相互作用、ライブラリフィールド、社会記憶システム
Contact: uda@slis.tsukuba.ac.jp
Web: http://niccoli.slis.tsukuba.ac.jp/

IMAGINE THE FUTURE.

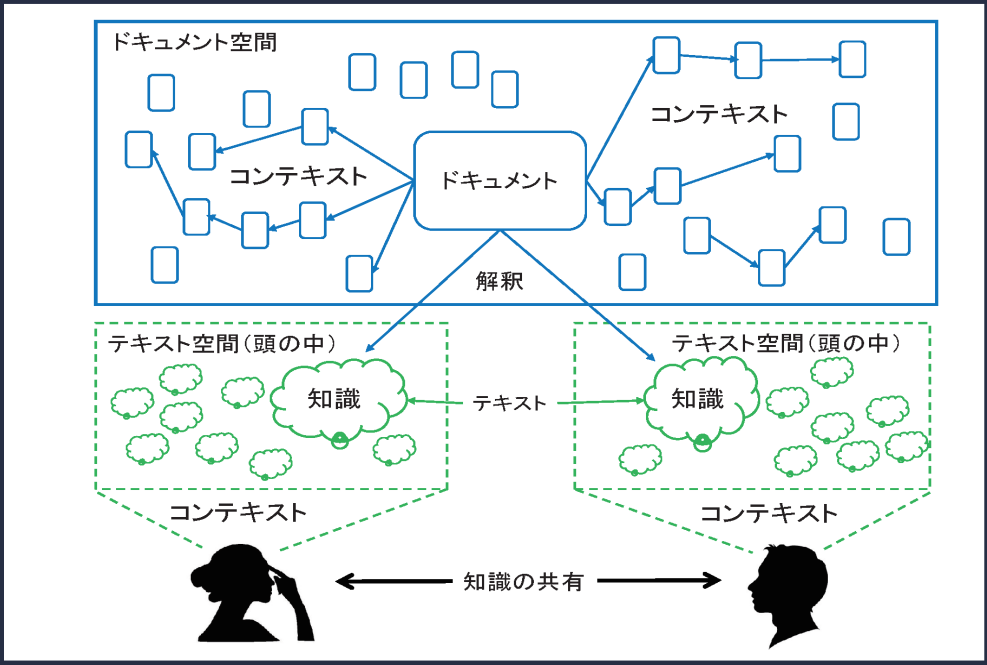
Graduate School of Library, Information and Media Studies
University of Tsukuba 筑波大学

研究概要

知識はコミュニケーションを介して共有される。コミュニケーションとは言語などの記号による相互作用である。コミュニケーションには人と人との直接コミュニケーションのほか、ドキュメントを介した記録によるコミュニケーションがある。知識は記録されてこそ社会の記憶として共時的かつ通時的に共有される。社会の記憶装置はこれまで図書館、文書館、博物館が担ってきたが、情報技術が発達した現在においては、新しい社会記憶システムの構築が急務である。そこで本研究室では、人とドキュメントの相互作用の過程を理論的かつ実践的に解き明かし、ライブラリフィールドという知識共有と知識創造を促進させる場を構築することで、新しい社会記憶システムのあり方について考察する。

研究テーマには、文献探索ゲームによるテキスト空間とドキュメント空間の重ね合わせ、人の知識を刺激するドキュメント展示手法の開発、デジタルヒューマニティーズにおける記憶資源の知識リンケージなどが考えられる。

www.slis.tsukuba.ac.jp



論文

1) 宇陀則彦 第 20 章 世界の知識に到達するシステム , 図書館情報学を学ぶ人のために , 世界思想社 , p. 214－224, 2017-04　2) 宇陀則彦 . 図書館における高齢者の資料選択理由の分析 . 図書館情報メディア研究 , 2018, vol.15, no.2, p.17-27.　3) Norihiko Uda, Chieko Mizoue, Saori Donkai, Information Seeking Behaviors of Older Adults in Public Libraries, Proceedings of the 8th International Conference on Asia-Pacific Library and Information Education and Practice (A-LIEP 2017), 2017-11　4) Norihiko Uda, Development of a new information literacy education: A bibliographic search game. Proceedings of the 7th International Conference on Asia-Pacific Library and Information Education and Practice (A-LIEP 2016), p.434-446, 2016-11
5) 李 奎皇 , 三森 弘 , 宇陀 則彦 . グループ知的活動の生産性と満足度の評価 : 立位と座位の比較 . 図書館情報メディア研究 , 2016, vol.13, no.2, p.15-22.

社会貢献活動

国立大学図書館協会の図書館環境高度化委員会の委員をつとめており、新たな知を創出するための、教育、学習、研究を支援する機能の展開に関する調査・企画等に従事している。国立歴史民俗博物館の共同研究員をつとめており、「総合資料学の創成」プロジェクトの人文情報ユニットにおいて専門知識を提供している。国立民族学博物館の客員教員をつとめており、文化資源の高度情報化とデータベースの連携において専門知識を提供している。

メッセージ

人生いろいろ、大学もいろいろ、学生もいろいろです。将来どうなるかわかりません。しかし、大学院で過ごす時間は間違いなく社会に出てからの生き方に直結します。大学院で身につけた知識や技能が自分の戦力になります。もちろん社会に出てからも勉強できますが、大学院のときのように全ての時間を費やすことはできません。また、どのように物事を考えていくのかといった思考スタイルが決まるのもこの時期です。悔いのないように過ごしてください。

関連情報サイト

1) http://www.futurecenteralliance-japan.org/　2) http://www.faj.or.jp/　3) http://codh.rois.ac.jp/　4) http://adho.org/